

「ジャーナリズム勉強会」開催へ

メディアの活きた姿を

筑波学生新聞

編集・発行
筑波大学学生新聞会
代表 渡辺 昭久
〒305 茨城県筑波学園郵便局
私書箱29号
TEL 0298-52-4460
振替 宇都宮6-31450
無料

宣伝号

一面……「ジャーナリズム勉強会」
二面……筑波学生新聞の紹介

新聞会が主催

筑波大OBを講師に

学園ジャーナリズムに一石

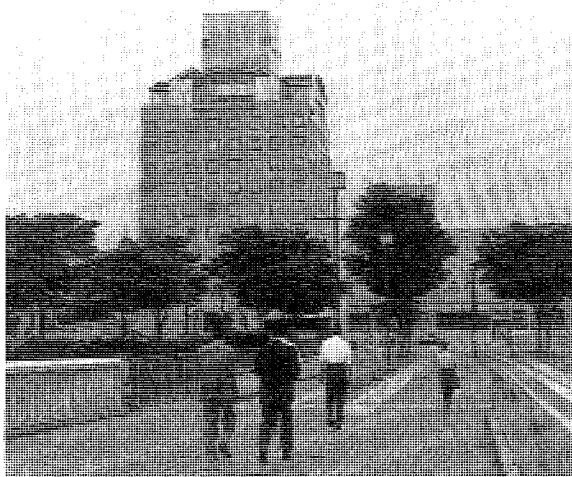
復刊への第一歩として

現在第一線で活躍中のジャーナリストを講師に招いての「ジャーナリズム勉強会」が、六月十二日午後二時より、筑波大学一D二〇七教室で開催される。主催者はジャーナリズム研究会と筑波大学学生新聞会。講師として予定されているのは官林祐治氏（日本新聞協会、原田亮介氏（日本経済新聞記者）、福田忠司氏（NHK報道局ディレクター）、要浩一郎氏（報知新聞記者）、内田英憲氏（日本農業新聞記者）ら、いずれも筑波大学のOB。活発な議論が期待される。

メインテーマは「ジャーナリズムの役割と責任」。根ざしたジャーナリズム観を講師のディスカッションに。よって、それぞれの体験に「関係ない」という一言ですべての問題から逃れられるかのように思われる現在。そのなかにもジャーナリズムの影響から逃れるのは容易ではありません。このツクバでも情報が溢れているのです。しかし、それらすべてが有効であるとは考え難いと思われまふ。そこで、この勉強会では今を取り巻くジャーナリズムについて、この地ツクバで考えるひとときを持つという所存です。

参加者と交えたフリートークを行う。今回招かれる講師がすべて筑波大学のOBである。その後、講師として筑波大学のOBであるた

め、筑波大学、あるいは学園都市をめぐるジャーナリズムの状況に対し、一石を投じるものともなる。また、筑波大学、あるいは学園都市をめぐるとして「関係ない」という一言ですべての問題から逃れられるかのように思われる現在。そのなかにもジャーナリズムの影響から逃れるのは容易ではありません。このツクバでも情報が溢れているのです。しかし、それらすべてが有効であるとは考え難いと思われまふ。そこで、この勉強会では今を取り巻くジャーナリズムについて、この地ツクバで考えるひとときを持つという所存です。



▶発展の道をたどってきた学園都市。ここ筑波のジャーナリズムの存り方は？

会 告

筑波大学学生新聞会では、93年度初の企画として「ジャーナリズム勉強会」を開催いたします。

日時 6月12日(土)
1時30分開場 2時開演
場所 筑波大学1D207教室
講師 官林祐治氏
(日本新聞協会、80年社会学類卒)
原田亮介氏
(日本経済新聞記者、81年比較文化学類卒)
福田忠司氏
(NHK報道局ディレクター、83年自然学類卒)
要浩一郎氏
(報知新聞記者、86年人文学類卒)
内田英憲氏
(日本農業新聞記者、88年農林学類卒)
主催 ジャーナリズム研究会
筑波大学学生新聞会

筑波大生のための店

R.S.

高画質・高速・全自動
コピー1枚10円
お預り作業もいたします
(特別作業以外は無料)
(通常翌日)

高速ワープロ入力サービス・金文字製本・FAX送信・受信サービス

- 各種紙製品取扱。 (更紙・中質紙・上質紙他)
- 各種製本できます。(3分)
- デジタルコピーサービス(転写他)
- フルカラーコピーサービス (A3からOHPまでOK)
- パンフレット・チケット・ポスター etcの印刷もできます。
- 文具・事務用品(本棚・デスク)各種注文できます。
- 6段スチール本棚(格安)
- 印刷関係用品格安。

つくば市天久保3-9-6(筑波大学学生会館うら) オオキビル2F ☎0298-51-6293
コピーサービス・文具・紙・製本 (AM10:00~PM12:00)

DTPパソコン → 高品位印刷

水海道市天満町2438
TEL (0297) 23-2333(代)
FAX (0297) 23-5865

松枝印刷(株)

医療法人 恵歯会

桜ヶ丘歯科

診療時間 (9:30~18:00)
吾妻3-17-6
東大通り沿い

日, 月, 祭日
休 診

TEL 0298-52-1518

復刊活動開始

筑波学生新聞

休刊から復刊へ。筑波学生新聞が新たな活動を開始しました。

「筑波学生新聞」では、つくばに住む学生が、そこに潜むさまざまな出来事を深く見つめてきました。いまはつくば文化の一翼を担う存在となっている、学生メディアです。

しかし、その「筑波学生

新聞」も人手不足には勝てず、今年三月、休刊という事態に陥りました。

ところが、新学期に入り、数多くの新入生が集まり、今年三月、休刊という事態に陥りました。

「筑波学生新聞」は、自由で独立した立場から、正確で公正な情報伝達、真実

開学以来の伝統

文化の創造と議論の場に

一九八二年四月に創刊した開学以来の由緒正しいジャーナリズムなのです。

「筑波学生新聞」は政治団体や宗教団体からの支援は一切受けることなく、学生が自主的に発行している新聞です。その姿勢は学内外において高い評価を受け、一般紙でも「筑波大学の自主メディア」としてたびたび取り上げられてきました。

今後の活動に期待を

学生による自主メディア 学園祭で準備号を発行

●ジャーナリズム勉強会
本紙一面を御覧ください。

●学園祭
講演会などのイベントを開催します。

●復刊準備号
学園祭に向けて発行します。

●自由な発想と行動力
つぎに、「筑波学生新聞」の報道内容について少し紹介

筑波学生新聞は、これまで学内外を問わず、さまざまな問題を学生の視点から記事にしてきた。

●ツクバの隅々をみつめる◎

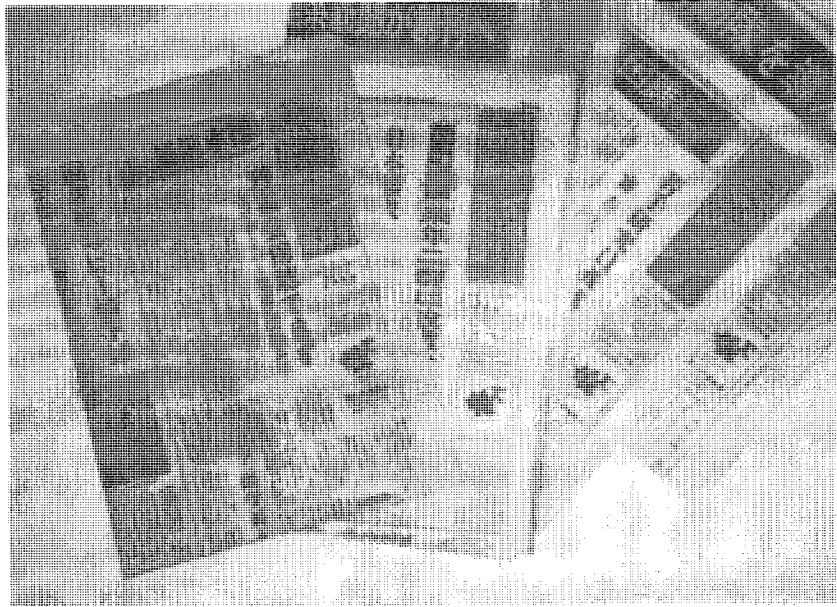
まず、学内問題報道では、「どこへ行く国際関係学類(第24号84年5月)」「文鮮明氏(統一教会教祖)の息子が筑波大に(第38号85年9月)」などをスクープし、また、「事務官 生協の営業活動妨害(第76号89年5月)」「検定不許可・筑波大史(第75号89年4月)」など筑波大学の管理体制について取材してきた。

次に、学園都市開発をめぐる地域報道では、「常磐新線沿線開発(第98号91年9月から2回)」「入居者求ム!時代にとり残されたアパートたち(第96号91年5月)」なども取り上げてきた。

さらに、「プライムの実態を探る サークルは政党になれるか(第100号92年1月)」「休学制度は

見出しにみる 筑波学生新聞の11年

▼鋭い視点から事実をみつめる筑波学生新聞



生の声を反映

ツクバの栄養剤に

学生の味方(第84号90年3月) 筑波大生の生の姿を掘り下げて追本営にやりたい学問のために「転学」(第90号90年10月)「こんなこと考えてます」最近の筑波大生事情(第100号92年1月)など

◎ユニークな体あたり取材◎
そのほか、筑波大学・学園都市

外部の視点を導入◎

また、学生記者以外の著者による連載コラムも掲載してきた。最近では、人文卒の大塚英志氏「解

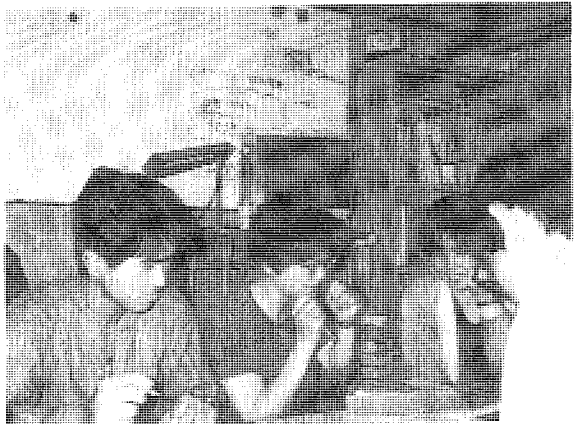
での話題・情報を様々な角度から紙面化してきた。「幻の第四学群発見!!」(第71号88年11月)「ラブホテル深夜張り付きルポ」(原理研の実態・友達が消えた)(第73号89年1月)「ストリップ劇場ルポ」(第84号90年3月)「ドキュメント・急性アルコール中毒」(第76号89年5月)など。

体するマンガ(第66号88年5月号91年4月から6回)の各氏におから8回)社会卒ですばる文学賞 願いました。

栗本慎一郎氏・筑紫哲也氏・谷川俊太郎氏・石ノ森章太郎氏・渋谷一氏・森毅氏・島田雅彦氏・高橋源一郎氏・鴻上尚史氏ら各方面の識者・著名人にインタビュー

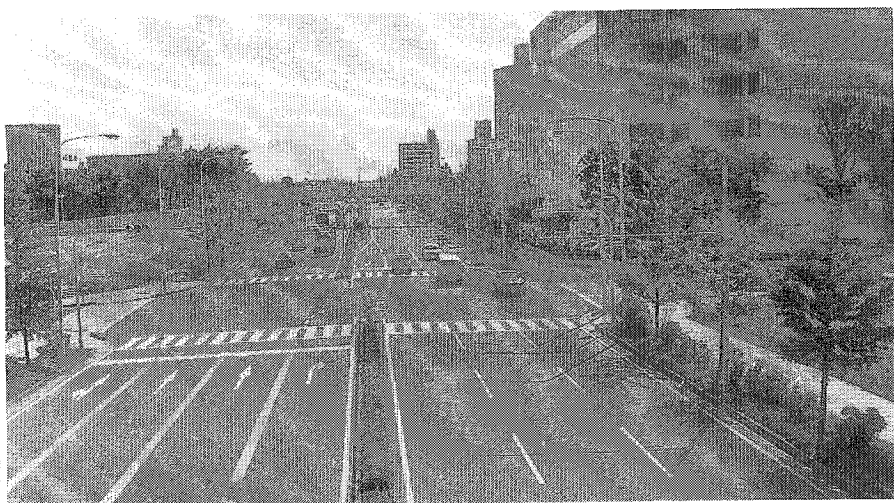
・講演会などの企画に協力していただき、情報不足に陥りがちなつくばに一石を投じてきた

さらに、「新入生歓迎号」(4月)「就職特集号」(6月)「学園祭特集号」(10月)「受験生特集号」(2月)などの特別号や縮刷版1・IIも発行している。



▲来春の復刊へ活動を再開した筑波学生新聞の編集室

また、学生記者以外の著者による連載コラムも掲載してきた。最近では、人文卒の大塚英志氏「解



只今

準備中

筑波学生新聞
TEL 52-4460

お役に立ちます
トヨタレンタカー
筑波学園営業所

予約カンタン
ゼロ100番!

☎51-0100

御食事処
ふくむら

肉料理から魚料理まで (営業時間)
和定食有り 午前11:30~午後2:00
午後5:00~午後9:00
宴会料理承ります 日曜定休

天久保3-10-11 ☎(51)6190

ネットワーク500 結成4周年記念シンポジウム

いま憲法を問う

1993年6月13日(日)13時より つくば市・竹園公民館にて

●問題提起者
いいだもも(作家・評論家) ●伊藤成彦(中央大学教員)
降旗節雄(帝京大学教員) ●千本秀樹(筑波大学教員)

●司会・コーディネーター/丹野清秋(茨城大学教員)
●主催/ネットワーク500・フォーラム90S
●入場/カンパ 500円
●連絡先/茨城大学農学部丹野研究室 (TEL 0298-87-1261)